

プロフェッショナリズムと行動科学

責任者名：好士 亮介(医療人間科学 専任講師)

学期：後期

対象学年：2年

授業形式等：講義

◆担当教員

好士 亮介(医療人間科学 専任講師)

川戸 貴行(衛生学 教授)

紙本 篤(総合歯科学 准教授)

竹内 義真(総合歯科学 助教)

尾崎 愛美(衛生学 助教)

尾崎 哲則(医療人間科学 兼任講師)

武井 正美(隣接医学 兼任講師)

中島 一郎(医療人間科学 教授)

山下 晶子(医療人間科学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

歯科医療における歯科医師のプロフェッショナリズムについて学び、健康支援者としての必要なアプローチを実施するために行動科学を理解する。

◆到達目標 (SBO s)

- ・プロフェッショナリズムを説明できる。
- ・プロフェッションとしての歯科医師のあり方を説明できる。
- ・プロフェッショナルとしての臨床倫理判断について概説できる。
- ・行動形成における動機付けについて概説できる。
- ・健康支援と行動変容の意義を説明できる。
- ・保健行動とコンプライアンス行動が説明できる。
- ・段階的变化モデルについて説明ができる。

◆評価方法

授業の課題 (50%) と定期試験 (50%) で評価する。授業の課題は授業後に提出するワークシート (授業の振り返り) とし、後日の授業でフィードバックを行う。

提出物が期限内に提出されない場合は減点対象となる。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間 ・ 場所など	メールアドレス・連絡先	備考
好士 亮介	月曜日 17:00~18:00 医療人間科学分野研究室 (3号館3階)	koushi.ryousuke@nihon-u.ac.jp	
川戸 貴行	月曜日 17:00~18:00 衛生学教授室 (新館7階)	kawato.takayuki@nihon-u.ac.jp	

紙本 篤	月曜日 17:00~18:00 総合診療科 医局 (本館3階)	kamimoto.atsushi@nihon- u.ac.jp	
尾崎 愛美	月曜日 17:00~18:00 衛生学研究 室 (新館7階)	ozaki.manami@nihon- u.ac.jp	
竹内 義真	月曜日 17:00~18:00 総合診療科 医局 (本館3階)	takeuchi.yoshimasa@nihon- u.ac.jp	
尾崎 哲則	授業終了後、質問を受けつける	ozaki.tetsunori@nihon- u.ac.jp	
武井 正美	授業終了後、質問を受けつける	問い合わせは教科担当責任 者へ	
中島 一郎	授業終了後、質問を受けつける	nakajima.ichirou@nihon- u.ac.jp	
山下 晶子	授業終了後、質問を受けつける	問い合わせは教科担当責任 者へ	

◆授業の方法

授業は、講義を中心とする。事前に授業内容に関連する資料を配布するので、必ず事前に読んでおくこと。授業の振り返りとして、当日のテーマに関するワークシートによる演習を授業中に行う（授業の課題）。後日の授業で、原則論に従った考え方を解説する（フィードバック）。

◆アクティブ・ラーニング

授業は事前学習を行っていることを前提として進行することもあるので留意しておくこと。また、当日のテーマに関する具体的な課題に沿った演習を行う（いわゆるPBL形式で行う）。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書1	スタンダード社会歯科学（第8版）	石井拓男、尾崎哲則、平田創一郎、平田幸夫、山本龍生編	学建書院	2023
教科書2	よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育 プロフェッションワークブック	日本歯科医学教育学会編	医歯薬出版	2019

--	--	--	--	--

◆DP・CP

コンピテンス1：歯科医師としてのプロフェッショナルリズム コンピテンシー：1-1, 1-2, 1-3, 1-4 対応するディプロマ・ポリシー：DP-1

コンピテンス4：歯科医学および関連領域の知識 コンピテンシー：4-7 対応するディプロマ・ポリシー：DP-4

コンピテンス6：コミュニケーション コンピテンシー：6-1, 6-2, 6-3, 6-4 対応するディプロマ・ポリシー：DP-6

コンピテンス8：生涯学習 コンピテンシー：8-2, 8-3, 8-4 対応するディプロマ・ポリシー：DP-8

◆準備学習(予習・復習)

授業の復習とともに、事前配布の次回資料について読んでくること。

◆準備学習時間

各々授業時間半分を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

1 学年：自主創造の基礎， 2 学年：医療と倫理， 3 学年：医療と福祉， 医療コミュニケーション， 口腔衛生学， 4 学年：医療面接， 歯周病学， 6 学年：歯科保健医療と社会

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ・ 2		9.11	7 ～ 8	1. プロフェッショナルリズム 1) プロフェッショナルリズムとは何か 2) プロフェッショナルリズムと歯科医療	・プロフェッショナルリズムとは何かについて概説できる。 ・プロフェッショナルリズムが医療の中で大きな課題となってきた経緯を知る。 ・プロフェッショナルリズムが欧米での歯科医療の中で、現在どのように扱われているかを理解する。	好士 亮介 尾崎 哲則	A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
3 ・ 4		9.25	7 ～ 8	1. プロフェッショナルリズム 2) プロフェッショナルリズムと歯科医療 3) プロフェッショナルリズムと医療倫理	・歯科医療とプロフェッショナルリズムとの関連について概説できる。 ・医の倫理に関する国際的規範をプロフェッショナルリズムからの見方について概説できる。 ・従来から言われてきた医療に関わる倫理とプロフェッショナルリズムとの関連について説明できる。	尾崎 哲則 好士 亮介 竹内 義真	A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 A-1-1) 医の倫理と生命倫理
5 ・ 6		10.2	7 ～ 8	1. プロフェッショナルリズム 4) プロフェッショナルリズム	・生命倫理の基本原則（四原則：Beauchamp, Childress）について説明できる。	尾崎 哲則 好士 亮介 竹内 義真	A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権

				ナリズムと生命倫理 5) プロフェッショナルリズムと臨床倫理	・臨床倫理判断の基本的な手技（倫理検討シート：Jonsen 4 box）について理解する。		A-1-1) 医の倫理と生命倫理
7 ・ 8		10.9	7 ～ 8	1. プロフェッショナルリズム 6) プロフェッショナルリズムと臨床現場 7) プロフェッショナルリズムと患者 ※スポーツの日 (10月9日) 通常授業実施	・医療人として患者さんとのあり方について理解を深める。 ・医療を進める上でのインフォームドコンセントが有効である条件を挙げることができる。 ・インフォームドコンセント、インフォームドアセントについて概説できる。 ・患者主体の医療での、医療者の持つ裁量権と患者の自己決定権との関連について説明できる。 ・説明と同意と情報共有という意思決定プロセスについて概説できる。 ・歯科医療現場での、人の意識や行動を科学的に理解していくことの意義を知る。	紙本 篤 好士 亮介	A-1-2) 患者中心の視点 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
9 ・ 10		10.16	7 ～ 8	1. プロフェッショナルリズム 8) プロフェッショナルリズムと医療	・医療の場におけるプロフェッショナルリズムについて理解を深める。	武井 正美 中島 一郎	A-1-2) 患者中心の視点 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
11 ・ 12		10.23	7 ～ 8	2. 行動科学の基礎 1) プロフェッショナルリズムと歯科での行動科学 2) 行動科学の成立	・「行動科学」は患者－医師関係を学ぼうえで患者の意識や行動を理解するための基本的な理論であることを知る。 ・行動科学の定義を概説できる。 ・現代の医療における応用について理解する。	山下 晶子 中島 一郎 好士 亮介	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
13 ・ 14		10.30	7 ～ 8	2. 行動科学の基礎 3) 学習理論 4) 学習と動機付け 5) 行動変容	・日常場面での条件付けの形成について理解する。 ・学習における動機付けの重要性を説明できる。 ・患者教育（保健指導・健康支援）は、望ましい行動の形成と望ましく	山下 晶子 中島 一郎 好士 亮介	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

					ない行動を変容させる過程として捉えられることを理解する。		
15 ・ 16		11.6	7 ～ 8	3. 行動科学と医療 1) 保健行動とは 2) 保健行動のモデル	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導（健康支援）という医療分野について理解する。 ・保健行動を概説できる。 ・保健行動理論の基本について理解する。 ・基本的な保健行動モデルを列挙できる。 	尾崎 哲則 好士 亮介	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
17 ・ 18		11.13	7 ～ 8	3. 行動科学と医療 1) 歯科疾患と行動科学	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科疾患の予防や治療に関する行動科学的アプローチについて理解する。 ・定期的な歯科健康診査の受診の難しさを行動科学的に説明することができる。 	尾崎 愛美 好士 亮介	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念
19 ・ 20		11.20	7 ～ 8	3. 行動科学の医療 2) 患者指導における行動科学	<ul style="list-style-type: none"> ・患者への刷掃指導のステップを列挙できる。 ・歯科疾患の予防・治療において重要である「プラークコントロール」指導を行動科学的に説明することができる。 	尾崎 愛美 好士 亮介	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
21 ・ 22		11.27	7 ～ 8	4. 医療における人間関係の理解（患者理解） 1) 患者さんの疾病への反応 2) 患者さんの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・患者さんとはどのような存在なのだろうか。疾病を抱えた患者さんの心理的側面について理解する。 ・患者さんは疾病をどのように受け止め、行動するのかを理解する。 	好士 亮介 中島 一郎	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 A-4-2) 患者と歯科医師の関係
23 ・ 24		12.4	7 ～ 8	5. プロフェッショナルリズムと健康教育 1) 健康教育とは 2) ヘルスリテラシーとは	<ul style="list-style-type: none"> ・住民（患者）主体の健康教育について説明できる。 ・健康教育の定義と目的と知識・技術の伝達の差について理解する。 ・ヘルスリテラシーが健康教育の目的であり、ヘルスプロモーションの重要な要素であることを理解する。 	好士 亮介 川戸 貴行 尾崎 哲則	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念
25 ・ 26		12.11	7 ～ 8	6. プロフェッショナルリズムと保健行動	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス行動を理解する。 ・アドヒアランスについて概説できる。 	尾崎 哲則 川戸 貴行 好士 亮介	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

				1) 保健行動と合理性	る。 ・疾病の予防あるいは治療のための行動変容について理解する。 ・行動経済学的手法（ナッジ）から保健行動の変容が起きることを理解する。		B-3-1) 予防の概念
27 ・ 28		12.18	7 ～ 8	6. プロフェッショナルリズムと保健行動 2) 保健行動モデル（個人対応） 3) 保健行動モデル（集団対応）	・自己の行動変容と対象者個人の欲求との関連について概説できる。 ・基本的な保健行動モデルである健康信念モデルを理解する。 ・代表的なモデルである段階的変化モデル（Prochaska Model）を説明できる。 ・代表的な健康政策モデルであるプリシード・プロシードモデルについて説明できる。	尾崎 哲則 川戸 貴行 好士 亮介	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
29 ・ 30		1.6	7 ～ 8	7. 新しいプロフェッションの領域 1) 歯科健康支援を見直す 2) 歯科医療におけるプロフェッショナルリズム ※土曜日授業実施	・個々の歯科医師が行う診療領域と、社会が要求する診療領域の格差について考える。 ・多様化する国民の要求とプロフェッションとしての歯科医療者の関係について概説できる。	好士 亮介	A-4-2) 患者と歯科医師の関係

